

【2022年度 2Q：ライブ型オンライン授業】

英語 再申告（再履修）の方法について [重要]

英語科目の再申告が必要な学生は、以下の注意をよく読み、さらに関係する他の掲示、学修案内を確認した上で、必要な全ての手続きを自分でおこなうこと。

なお留学や休学などで履修推奨時期以外に履修しようとする場合も**再申告、再履修**とみなす。

1. 一般的な注意点

- (1) 単位を修得できなかった科目の種類について**各自が責任をもって確認**し、その単位が修得できる科目の申告をおこなうこと。後日間違いが判明すると、申告が認められなくなる。
- (2) 出席クラスが確定するまでは、教科書の購入は控えること。教科書を持っていることは、人数制限の必要が生じた際に有利な条件として考慮されることはない。
- (3) 「英語第一」～「英語第八」単位認定試験については外国語セクションホームページへ別途掲載されているので、そちらで確認すること。(2022年6月1日時点、受付終了)
- (4) 英語科目と他科目との重複申告は一切認められない。
- (5) 受講許可を申し出る時期は1Q/2Qで異なる。例えば「英語第五/英語第六」の2科目を再履修する場合、1Q/2Q同一のクラス番号・担当教員の科目を履修登録し、1Qで受講許可を得る必要があり、2Q「英語第六」1科目のみを再履修する場合は、2Qで担当教員に受講許可を得る必要がある。
- (6) 教務課の『[履修および履修申告について](#)』と『[東工大版 Zoomによる遠隔授業の受講の手順と留意点](#)』も参照して下さい。

2. 履修申告の方法

- (1) 履修登録したクラスの初回授業で、再履修希望の旨を担当教員に Zoom 上もしくはメールで申し出て、履修許可を求めること。初回授業終了までに担当教員へ履修許可を申し出なかった場合、不許可登録（教員によって履修取消）される場合がある。
- (2) 各クラスの授業方針によっては受講人数の関係で、受講を断られることもある。この場合、選出方法は各担当教員に任されているのでその指示に従うこと。受講を断られた場合はすみやかに外国語事務室へ連絡をすること。
- (3) 同一の教科書を使用するクラスに同時に2つ以上所属することは認められない。
- (4) 2Q開講の科目を再履修する場合、下記日程(授業開始2日前)までに履修登録を行うこと。

- ・ 月曜日初回授業の URL を受け取るには：6月11日（土）までに履修登録
- ・ 水曜日初回授業の URL を受け取るには：6月13日（月）までに履修登録
- ・ 木曜日初回授業の URL を受け取るには：6月14日（火）までに履修登録

<LS-ADV クラスでの再履修>

- LS-ADV クラスでは再履修学生を受け入れない。
- 旧カリキュラム L S B の単位を修得できなかった学生は、L S または R W クラスで再履修しなくてはならない。

再申告をするべき科目・クラス（前学期）

新カリキュラムの学生

（学籍番号最初の数字が16以降の数字で始まる2016年度以降の入学者）

<1Q 英語第一, 2Q 英語第二>

1. 任意の通常クラスを選んで履修をする(表1)。
2. (日曜を除く) 初回授業の2日前までに履修登録をすること。
3. 人数制限の可能性もあるので、担当教員から ZOOM 上またはメールで履修の許可を得ること。

<1Q 英語第五, 2Q 英語第六>

1. LS-ADV クラスを除く, 任意の通常クラスを選んで履修をする(表1)。
2. (日曜を除く) 初回授業の2日前までに履修登録をすること。
3. 人数制限の可能性もあるので、担当教員から ZOOM 上またはメールで履修の許可を得ること。

<1Q 英語第三, 2Q 英語第四, 1Q 英語第七, 2Q 英語第八>

1. 水5-6限開講の再履修クラスを履修する(表1)。
2. (日曜を除く) 初回授業の2日前までに履修登録をすること。

※注意※ <英語第三, 英語第四, 英語第七, 英語第八>を通常クラスで再履修する場合は, 3Q4Q(後学期)まで待たなければならない。

* 単位を修得できなかった科目と再申告をするべき科目の対応表 (表1)

表1	英語第一	英語第二	英語第三	英語第四	英語第五	英語第六	英語第七	英語第八
1Q	月 or 木/ 1-2 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 3-4 or 5-6 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—
2Q	—	月 or 木/ 1-2 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 3-4 or 5-6 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス
3Q	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 1-2 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 3-4 or 5-6 限 通常クラス	—
4Q	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 1-2 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 3-4 or 5-6 限 通常クラス

再申告をするべき科目・クラス（前学期）

旧カリキュラムの学生

（学籍番号が15以前の数字で始まる2015年度以前の入学者）

<英語1(=英語第一, 英語第二)>

1. 任意の通常クラスを選んで履修をする(表2)。
2. (日曜を除く) 初回授業の2日前までに履修登録をすること。
3. 人数制限の可能性もあるので、担当教員から Zoom 上またはメールで履修の許可を得ること。

<英語3 (=英語第五, 英語第六)>

1. LS-ADV クラスを除く, 任意の通常クラスを選んで再履修をする(表2)
2. (日曜を除く) 初回授業の2日前までに履修登録をすること。
3. 人数制限の可能性もあるので, 担当教員から Zoom 上またはメールで履修の許可を得ること。

<英語2 (=英語第三, 英語第四)>

<英語4 (=英語第七, 英語第八)>

1. 1Q2Q 開講の該当科目の再履修クラスを履修する(表2)。
2. (日曜を除く) 初回授業の2日前までに履修登録をすること。

※注意①※ 「英語1」, 「英語2」, 「英語3」, 「英語4」のうちどれかを再履修する者は新カリキュラム(表2)から2科目を履修しなくてはならない。

例えば「英語1」の単位を取得するためには「英語第一」と「英語第二」の両方の単位を修得する必要がある。これまでの再履修で「英語第一」だけしか単位を修得していない場合は, 更に「英語第二」の単位修得も必要である。逆に「英語第二」しか単位を修得していない場合は, 「英語第一」の単位修得も必要である。

これは「英語2」, 「英語3」, 「英語4」についても同様で同じ色の新カリキュラム科目を履修する必要がある。

※注意②※ <英語第三, 英語第四, 英語第七, 英語第八>を通常クラスで再履修する場合は, 3Q4Q(後学期)まで待たなければならない。

◆ 修得できなかった科目と再申告をするべき科目の対応表(表2)

◆ 単位を修得できなかった科目と再申告をするべき科目の対応表(表2)

表2	英語1		英語2		英語3		英語4	
	英語第一	英語第二	英語第三	英語第四	英語第五	英語第六	英語第七	英語第八
1Q	月 or 木/ 1-2 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 3-4 or 5-6 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—
2Q	—	月 or 木/ 1-2 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 3-4 or 5-6 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス
3Q	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 1-2 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 1-2 限 通常クラス	—
4Q	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 1-2 限 通常クラス	—	水 5-6 限 再履修 クラス	—	月 or 木/ 1-2 限 通常クラス

<第二外国語での振り替え>

学籍番号が「15_」以前の数字で始まる学生は, 第二外国語中級の再履修に替えて英語第五/英語第六/英語第七/英語第八を履修, あるいは英語第五/英語第六/英語第七/英語第八の再履修に替えて第二外国語中級を履修することが可能である。(ただし, 同じ科目を二つ取ることはできない。) 希望者は, 外国語事務室までメールですみやかに申し出ること。

問い合わせ : 外国語事務室 英語科目担当事務
eigoscr-a-fl.ila.titech.ac.jp
(-a-をアットマークに置き換えて下さい)